

妙高西条農園 おたより

No.130
10月 号
2021.10.23



早くも妙高山に初冠雪

10月18日朝冷え込んだので、圃場から山を見たら妙高連山が真っ白に雪化粧していました。例年の初雪もこの時期には見られるのですが、先ずは妙高、火打の山頂部分が白くなりその後2、3回の降雪を繰り返し、今回の標高1500m位まで白くなりますが、今年の場合は一気に中腹まで来てしまいました。更に20日の寒波では赤倉温泉ほどまで降雪がありました。



冷え込んだ10月18日、我が家の圃場から望む妙高山・火打山の初冠雪



今年は昨年より多くの3連のハサを作りました

太陽と秋風によりハサかけ米が美味しく仕上がりました

好評をいただいています今年のハサかけ米も、天候に恵まれたことから、美味しく仕上がりました。既に皆様から多くのご予約を頂いています。在庫が少なくなってきましたので、早めのご注文をお願いします。

五里下りも遅り幾

この機械にお米を通し、光センサーで米の欠点（黒点、変色等）米を瞬時に見分けエアーガンで欠点米のみをはね飛ばし、綺麗なお米のみに仕分ける機械です。この色選別機を通すことで、皆様により綺麗なお米をお届け出来るようにしています。



耕作放棄地にはびこるセイタカアワダチソウ

近年我が家の圃場の周りにも、農家の高齢化等による耕作放棄地が増えてきました。どんなに良い圃場でも耕作をやめて1、2年すると、雑草が繁茂し始めますが、中でも目立つのがセイタカアワダチソウです。この草は、北アメリカ原産でキク科アキノキリンソウ属の多年草帰化植物で、秋には黄色の花を付け黄色の絨毯を、敷



耕作放棄地に咲くセイタカアワダチソウ

詰めたように見えますが、種子と地下茎の両方から増え、繁殖力が旺盛でたちまち周りの在来植物が見られなくなってしまう。この花は環境省の生態系被害防止外来種リストにも載せられています。セイタカアワダチソウだけではなく、このような耕作放棄地が増えると、野生動物の熊やサルにイノシシ等の住みかになったり、病害虫の蔓延のもととなったり、隣接する圃場や畑も被害にあうことになってしまいます。美味しいお米を生産してゆくには、農業を取り巻く環境の整備を急がなければならないと思っています。

来年の黒ニンニク生産の準備を始めました

今年の黒ニンニクはお陰様で好評をいただきまもなく、原材料の生ニンニクの在庫がなくなりそうです。来年の作付け準備のため、畑の耕耘と畝にマルチ張りを行っています。肥料は、籾殻燐炭、ゆうき元気、牛糞堆肥、油かす、ミネラル肥料のミネグリン、マインマグCを主に科学肥料を少々使って植え付け床を作っています。



ニンニク畑に播く有機肥料ミネラル肥料

発行者

〒944-0023

新潟県妙高市西条 755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908